



準決勝で聖光学院との東北勢対決を制し、7年ぶり3度目の決勝進出を決めたナイン。笑顔に包まれた

東北勢対決

聖光学院との東北勢対決。大量リード後も隙のない攻めを見せた。6回に橋本が適時打を放つ



小技の追加点

準々決勝の愛工大電戦で、三塁から前かがみで突っ込んでセンターライナーを打ち、追加点をもたらした



後押し

2回戦の鳥取商戦、選手と一体になって応援するスタンド。チームの勝利を後押しした

仙台育英 2022夏の軌跡

明豊(大分)	7	7
樹徳(群馬)	3	2
京都国際(京都)	5	5
一関学院(岩手)	6	2
八戸学院光星(青森)	7	5
創志学園(岡山)	3	5
愛工大電(愛知)	14	6
星稜(石川)	2	18
鹿兒島実業(鹿児島)	1	4
明秀学園日立(茨城)	2	6
仙台育英(宮城)	10	5
鳥取商(鳥取)	0	8
敦賀気比(福井)	13	8
高岡商(富山)	3	1
興南(沖縄)	5	6
市船橋(千葉)	6	10
三重(三重)	2	2
横浜(神奈川)	4	8
日大三(西東京)	2	3
聖光学院(福島)	4	4
九州学院(熊本)	14	4
帝京五(愛媛)	4	5
智弁和歌山(和歌山)	3	0
日大三島(静岡県)	3	5
国学院栃木(栃木)	10	14
高松商(香川)	14	2
佐久長聖(長野)	4	6
明德義塾(高知)	1	1
九州国際大付(福岡)	2	2
鶴岡東(山形)	12	3
鶴岡進(広島)	7	7
近江(滋賀)	8	8
鳴門(徳島)	2	7
海星(長崎)	11	4
日本文理(新潟)	0	1
天理(奈良)	2	2
山梨学院(山梨)	1	1
二松学舎大付(東京都)	3	7
札幌大谷(北海道)	2	0
札幌学院(北海道)	1	5
早稲田(東京)	1	10
社(兵庫)	6	4
大阪桐蔭(大阪)	6	19
大旭川大(北海道)	3	4
聖望学園(埼玉)	8	0
能代松陽(秋田)	2	8
下関国際(山口)	5	9
富島(宮崎)	0	5
有田工(佐賀)	3	3
浜田(島根)	5	5

仙台育英
初優勝

2回戦 (11日・第1試合)

鳥取商(鳥取)	000	000	000	0
仙台育英(宮城)	000	005	05×	10

仙台育英が投打に圧倒した。0-0の六回1死三塁から斎藤陽の左前打と森の右越え三塁打などで一挙5得点。八回にも8連打で5点を加え突き放した。

鳥取商は仙台育英の5投手の継投に2安打14三振無得点と封じられ、敵失絡みで察した八回2死一、三塁の好機も生かせなかった。

3回戦 (15日・第1試合)

明秀学園日立(茨城)	011	101	000	4
仙台育英(宮城)	001	100	30×	5

仙台育英が終盤に粘って逆転勝ち。2点を追う七回に連続押し出し四球で同点とし、岩崎の機飛で勝ち越した。投げては4投手が継投し、4番手の高橋が七回以降を無失点でしめた。

明秀学園日立は小刻みに得点し中盤まで優位に試合を進めたが、石川、猪俣両投手による小刻みな継投が勝負どころで決まらなかった。

準々決勝 (18日・第1試合)

愛工大名電(愛知)	000	000	011	2
仙台育英(宮城)	122	010	00×	6

仙台育英が12安打に3盗塁を絡めて加点し、快勝した。一回に森の機飛で先制し、二回は尾形の適時バント安打と橋本の適時打で2得点。その後も岩崎の2本の適時打などで点差を広げた。投げては先発斎藤陽が5回1安打無失点の好投で試合の流れを呼び込んだ。

愛工大名電は先発有馬が2回3失点。攻撃は4併殺が響き、終盤に2点を返すにとどまった。

準決勝 (20日・第1試合)

仙台育英(宮城)	0112	002	201	18
聖光学院(福島)	100	003	000	4

仙台育英が長短19安打18得点で大勝した。0-1の二回無死二、三塁からの3連続適時打など7安打に3四球、敵失にも乗じて一挙11点を入れた。その後も加点して突き放した。投げては3投手が継投し、3番手の仁田は3回無失点の好投を見た。

聖光学院は先発小林剛が二回途中で5失点。2番手佐山も勢いを止められなかった。打線は六回に3点を返す粘りを発揮した。

仙台育英ベンチ入りメンバー

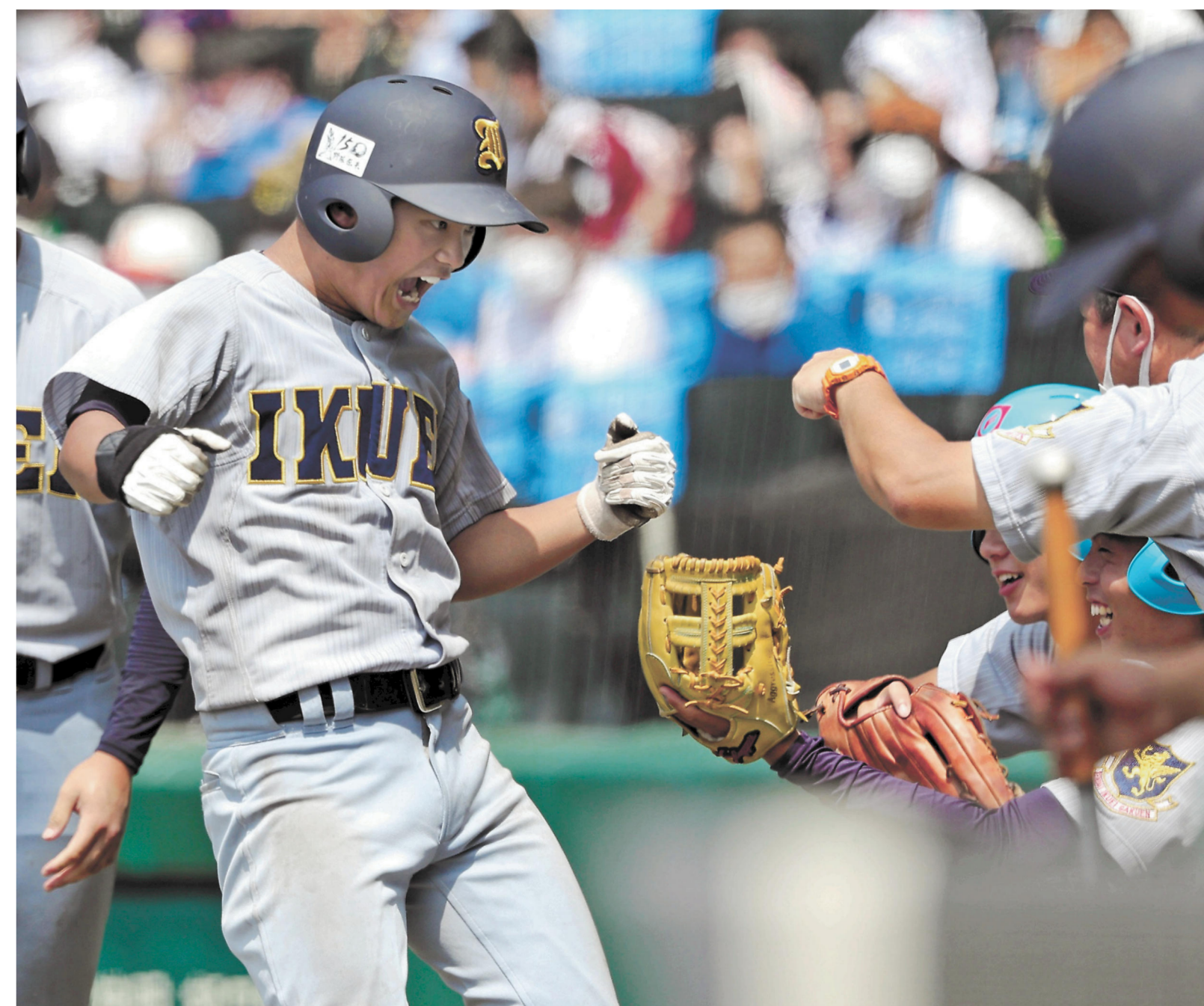


5投手零封リレー



5投手による零封リレーを見せた2回戦の鳥取商戦。先発斎藤陽は5回1安打無失点の好投で試合の流れを呼び込んだ。2回途中5失点の2番手佐山も勢いを止められなかった。打線は六回に3点を返す粘りを発揮した。

勝ち越し打



3回戦の明秀学園日立戦、7回に勝ち越し打を放った橋本(左)。雄たけびを上げた